



第 10 回青参道アートフェア開催レポート



2016年10月20日から23日の4日間、第10回目を数える「青参道アートフェア」を開催いたしました。青参道アートフェアは青山通りと表参道の裏通り「青参道」に並ぶユニークで洗練されたブティック、カフェやサロンを会場に、現代アートで通りが賑い、若手アーティストの作品を「購入する」楽しみを知ってもらうことを目的としたアートフェアです。記念すべき第10回目である本年は44店舗・55組以上のアーティストが参加、初日のオープニングナイトには青参道に800人以上が来場する盛況ぶりを見せました。会期中は天候にも恵まれ、会期中は約12,000人に青参道アートフェアを楽しんでいただくことができました。

KIRIN HARD Cidreの参加型企画や小原流会館1Fロビーでのホルベインの画材を使用したライブペインティング、OMO HARAREALとのメディアタイプや新しいデジタル時計FES Watchなど企業との取り組みも多く、完成度の高いアートフェアとなりました。

敷居は低くクオリティは高く、青参道アートフェアは今後もより多くの方にアートに触れていただける機会を提供して参ります。

開催概要

テーマ：私の好奇心に火がつくような

会期：2016年10月20日(木)～10月23日(日) 4日間

レセプションパーティー：10月20日(木) 18:00-21:00

時間：参加店舗の営業時間に準ずる

会場ショップ：44店舗

(青参道一帯の店舗他、青山、表参道、原宿)

アーティスト：55組以上

来場者総数：約12,000人

全参加店舗 販売作品総数：約200点

協賛：   OMO HARAREAL

協力：小原流会館、企業コラボ東京プロジェクト、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、株式会社ニトムズ、MINEDRIP COFFEE、FES Watch、walking bicycle club

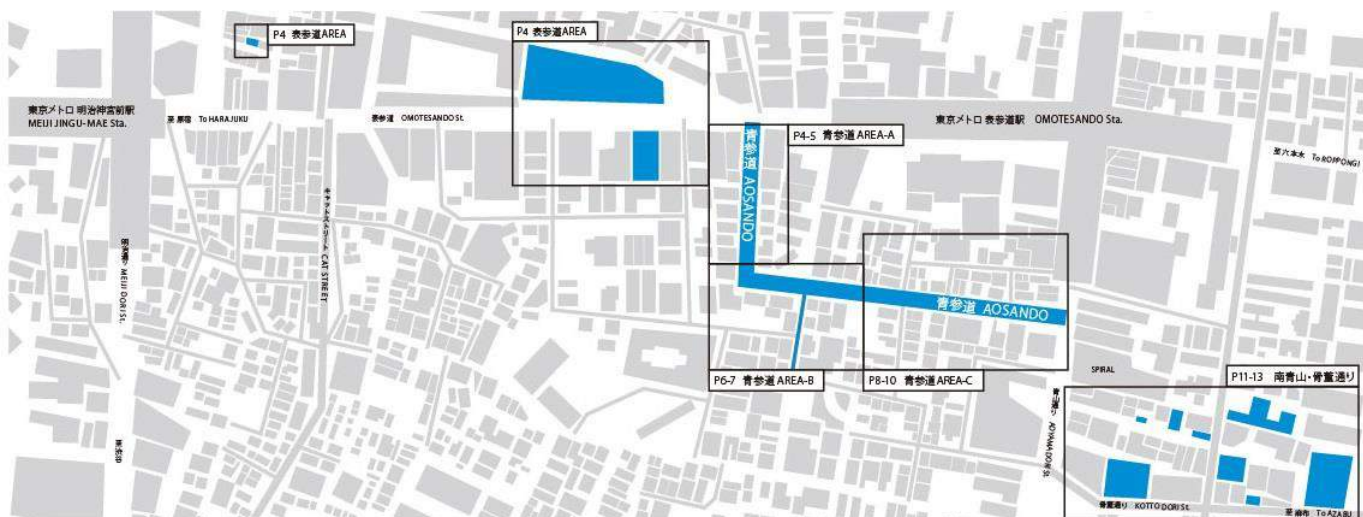
監修：戸塚憲太郎 (hpgrp GALLERY TOKYO/NEW YORK)

総合ディレクター：山本斐沙 (hpgrp GALLERY TOKYO)

主催：アッシュ・ペー・フランス株式会社

企画：青参道アートフェア実行委員

開催エリア 原宿から表参道、青山まで青参道を中心とした開催エリア



ARTISTS セレクター&ギャラリー

81 BASTARDS×Letterboy、Alfred Olmedo、Ante Vojnovic、buggy (高橋亮/DMO ARTS)、CHALKBOY、Celine Dominiak、Christopher Makos (MASATAKA CONTEMPORARY)、Eatable of Many Orders × 安田ジョージ、eve (新井まる/ girls Artalk)、Fafi、Francesco Scavullo (MASATAKA CONTEMPORARY)、holiday、Karan Singh (Eri Takane / High Root)、Lison Bombay (Marthe Desmoulin)、micca、Milton H. Greene (MASATAKA CONTEMPORARY)、NANOOK (佐藤拓/CLEAR EDITION & GALLERY)、Nathalie Lete、niű、Pierre Huyghe、riya (高橋 亮/DMO ARTS)、Vid Taylor (MASATAKA CONTEMPORARY)、
「Secrets and Dreams」 curated by Hanna Fushihara Aron、青山翔一、石田浩亮、岩田小龍 (岡田慎平/TEZUKAYAMA GALLERY)、草野庸子、草本海郎 (細木萬里子)、公文健太郎 (EMON PHOTO GALLERY)、古賀睦 (岡田慎平/TEZUKAYAMA GALLERY)、今野健太 (八木宏基/HARMAS GALLERY)、斉藤亢、鳶村吉祥丸、庄島歩音、鷹野健、谷村友、茶園大暉 (capacious、ライブハウス)、天牛美矢子、遠山敦 (西野慎二郎/CALM&PUNK GALLERY)、富永絢美 (高橋亮/DMO ARTS)、中村太一 (八木宏基/HARMAS GALLERY)、ナマイザワクリス、野内俊輔 (八木宏基/HARMAS GALLERY)、福井伸実 (坂井俊之/hpgrp GALLERY TOKYO)、藤原千晶 (MASATAKA CONTEMPORARY)、堀内結 (佐藤 拓/CLEAR EDITION & GALLERY)、村上実帆、本池作人・本池大介、山際マリ (MASATAKA CONTEMPORARY)、渡邊紘子、山田健人、「りあんとかれいななかま」藤島祥枝・白洲千代子 (中村圭吾/利菴アーツコレクション)、 and more!

SHOPS

Bazar et Garde-Manger、Cafe Madu Aoyama、COUTUME 青山店、crisscross / breadworks、DaB Omotesando、D-due H.P.FRANCE、duvetica aoyama store tokyo、Epoi room、Espace Louis Vuitton Tokyo、GANZO 本店、GRANNY SMITH APPLE PIE & COFFEE 青山店、H.P.DECO、H.P.FRANCE BIJOUX 表参道、hpgrp GALLERY TOKYO、io H.P.FRANCE 青参道店、JAMIN PUECH、Juana de Arco、Lamp harajuku、Le monde de Nathalie、LEATHER & SILVER MOTO、MBT STORE、MIRROR MIRROR、Miss Faline、OSKLEN、Pretty Ballerinas Aoyama、SERGE THORAVAL、shiro、Tempo 南青山、THE BURGER STAND FELLOWS、TRICO FIELD TOKYO、UMITOS、UNE MAISON LISETTE、UNITED NUDE TOKYO、Valmuer、WUT、東京十月、水金地火木土天冥海、表参道 BACCHUS、利菴アーツコレクション

POP UP café

アート作品をイメージしたコーヒーをバリスタがセレクトして提案する「ART×COFFEE」企画やコールドプレスジュースのキッチンカーなどが青参道に出現。



Why Juice?



Ruffy Tuffy



MINEDRIP COFFEE



さかい珈琲

ワークショップ

個性豊かなショップを舞台に子供から大人までアーティストと一緒に作品制作を体験、多くの力作が生まれました。



eve オリジナルチャームで世界で一つだけのアクセサリーを作ろう@Juana de Arco



トートバッグを私色にカスタムしよう @Juana de Arco



渡邊紘子ワークショップ“かけら”でつくるブローチ @UNE MAISON LISETTE



安田ジョージと作る、土に還る動物たち @水金地火木土天冥海



ペーパーバンキンプッチプール @TRICO FIELD TOKYO



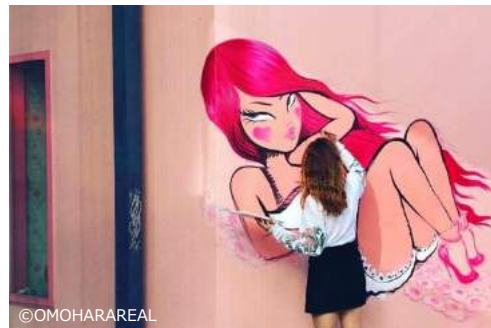
時間と色彩 -トリ・モビールをつくろう- @COUTUME 青山店

アーティスト来日

独自のスタイルを持つアートとキャラクターで世界中のファンを魅了する、人気アーティストの来日も大きな話題に。



ナタリー・レテ @Le Monde de Nathalie/ H.P.DECO



FAFI @Miss Faline

協賛・協力イベント



青参道の H.P.DECO 前に出現した黒板にりんごを描くと KIRIN HARD CIDRE のスペシャルキットがもらえる「KIRIN HARD CIDRE Cidre Art Wall」はリンゴの帽子を被った参加者で連日にぎわいを見せました。同じく HARD CIDRE の気泡をイメージしたボールで満たされたプールを配置した「KIRIN HARD CIDRE オトナの秘密基地」を小原流会館地下 1 階でオープン。HARD CIDRE のクリエイティブワールドを表現した空間で大人の好奇心を刺激しました。



小原流会館 1 階ロビーでは「HOLBEIN LIVE PAINTING SHOW ACRYLIC SERIES x 81BASTARDS」を開催。3 日間にわたりアーティスト集団 81BASTARDS がホルベイン画材の水性アクリル絵の具を使って公開制作を行い、それぞれの個性が織りなす力強い表現が一体になっていく過程に多くの人が魅了されました。また、青参道の各会場の展示やワークショップにホルベイン画材の絵の具を使用し、訪れる人々とアートの架け橋になりました。



ウェブメディア OMOHARAREAL とのタイアップにより、各ショップ・アーティストの独立した紹介ページとオンラインマップを連携させた「ART HOPPING」をはじめ、青参道アートフェアの特集を掲載。また、ART HOPPING 上のピンを青参道に再現した店舗サインや、OMO HARAREAL がプロデュースしたフォトブースのあるインフォメーションなど、来場者にとってわかりやすい誘導デザインで青参道アートフェアを演出しました。



ヘルスコンシャスな新しい「自転車」walking bicycle の試乗会を Juana de Arco を拠点に実施。いつもとは違う目線からアートを感じる街巡り「アート散策 by walking bicycle」を提案し、青参道を通る人の注目の的。

電子ペーパーを未来のファッション素材として用いた腕時計 FES Watch がインフォメーションに登場。実際に触ることができるサンプルに多くの人が足を止め、一瞬で文字盤とベルトのデザインが変わる様子にくぎ付けになりました。

プレス

アート関係者だけでなくファッションやデザイン関係者など多方面の注目が高く、FASHION PRESS、VOGUE、Harpers BAZAAR、朝日新聞デジタルや雑誌 LEE、ラジオ J-wave POP-UP! など、幅広いメディアに取り上げられました。



お問い合わせ

青参道アートフェア実行委員会 / アッシュ・ペー・フランス株式会社 担当：山本斐沙 金子夏季
〒107-0062 東京都港区南青山5-7-17 小原流会館B1F (hgpr GALLERY TOKYO 内) Tel: 03-3797-1507
Email: aosando@hgpr.com URL: hgprgallery.com/aosandoartfair Facebook: www.facebook.com/aosando Twitter: @aosando